

# **ムーンショット型研究開発制度に係る 戦略推進会議の進め方等について**

# ムーンショット型研究開発制度に係る戦略推進会議について

## 設置趣旨

研究開発の戦略的な推進、研究開発成果の実用化の加速、関係府省や関係研究推進法人の間の効果的な連携・調整を図るため、産学官から構成される戦略推進会議を設置。

## 役割

- (1) 原則として、毎年度、研究推進法人から進捗等の報告を受け、ムーンショット目標の達成に向けて、全体俯瞰的な視点から、プロジェクト構成の考え方、資金配分の方針等に関して承認・助言を行う。
- (2) 研究開発成果の橋渡し、民間との連携、官民の役割分担を踏まえた適時の民間投資の呼び込みを含め、研究開発成果の社会実装に向けた方策を助言するとともに、研究開発成果の社会実装等に関する支援を行う。また、国際連携を促進するための助言も行う。

### 戦略推進会議

(座長) 内閣府副大臣(科学技術政策担当)  
(座長代理) 内閣府大臣政務官(科学技術政策担当)

助言等

報告

**JST**

(科学技術振興機構)

**NEDO**

(新エネルギー・産業技術総合開発機構)

**BRAIN**

(生物系特定産業技術研究支援センター)

**AMED**

(日本医療研究開発機構)

#### 【構成員】

座長、座長代理、  
産学の有識者、関係府省

#### 【助言等事項】

- ・プロジェクト構成の考え方
- ・資金配分方針
- ・社会実装等の方策
- ・国際連携促進 等

#### 【開催頻度】

懇談会も含め、年2～3回程度開催

## 第19回ムーンショット型研究開発制度に係る戦略推進会議（懇談会）の議題となる目標について

### 目標3について

#### 【CSTI 5 年目評価結果】

- 目標3は、昨年11月の**第80回総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）**において、CSTI 5 年目評価実施要領に基づいて評価を行い、目標に対する進捗及び達成の見通しが確認できたため、**ターゲットを変更した上で「継続」と決定**。
- 継続にあたり、以下のような付帯事項（※）に取り組み、**戦略推進会議に付帯事項に係る対応について報告し、承認を得ること**とされている。

- ※付帯事項
- プロジェクトの再公募を視野に入れたプログラムの刷新計画の策定
  - ターゲットや目標達成の見通しを踏まえたポートフォリオ（プロジェクト構成、資金配分方針など）の策定
  - 開発する技術水準を国内外で比較できるベンチマークの設定
  - プログラムにおける8年目及び10年目に目指す具体的な技術水準の設定
  - 2050年の目標達成に向けたプログラムの社会実装シナリオの策定（社会実装主体の検討、民間からの資金調達及び研究開発成果のスピンアウトを含む）等

#### 【現状】

- 新たなPDの下で、目標達成のためにプロジェクトマネージャーを新規公募 ⇒ **14名を採択**

### 目標8・目標9について

#### <ムーンショット型研究開発制度の運用・評価指針（抜粋）>

#### 4. 研究開発の実施方法

##### 【実施期間】

- **CSTIは、研究開始時点から5年目にMS目標に対する進捗状況、今後のMS目標の達成の見通しを評価し**、MS目標の達成に向けた**研究開発（プログラム）の継続・終了を決定する**。

#### 5. 研究開発の評価等

##### 【評価】

- **研究開発法人は**、外部有識者による評価体制を構築し、**外部評価を実施する**。
- **外部評価**の実施時期は、原則として、研究開始時点から**3年目**及び**5年目**とし、5年を超えて継続することが決定した場合には、**8年目**及び**10年目**とする。

## 1. CSTIによる5年目評価について

- ムーンショット（以下MSという）型研究開発制度では、運用・評価指針（※）において、CSTIが研究開始時点から5年目にMS目標の継続・終了を決定することが規定されている。
- 目標 8、9 は、令和 9 年 3 月末に開始から 5 年が経過するため、CSTI 5 年目評価実施要領（参考 1）に基づき、MS目標に対する進捗状況及び達成の見通しを評価し、研究開発の継続・終了を決定する必要がある。

※運用・評価指針（抜粋）

4. 研究開発の実施方法

【実施期間】

○CSTIは、研究開始時点から5年目にMS目標に対する進捗状況、今後のMS目標の達成の見通しを評価し、MS目標の達成に向けた研究開発（プログラム）の継続・終了を決定する。

## 2. 5 年目評価の進め方（想定スケジュール等）

|                        |                                                                                             |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和 8 年 2 ～ 3 月         | PD・アドバイザー（外部）によるプロジェクト評価 <JST>                                                              |
| 令和 8 年 3 月             | <b>戦略推進会議</b> ⇒ 研究推進法人（JST）からのプログラムの進捗等の報告に対して、助言を実施                                        |
| 令和 8 年 4 月             | プログラム評価（主に技術専門的観点の外部評価※） <JST>                                                              |
| 令和 8 年 6 月             | プログラム評価（ガバニング委員会（外部）による総合評価※） <JST><br>⇒ JSTにおいて、評価が取りまとめ次第、評価結果を公表 ※上記 2 つが研究推進法人の5年目の外部評価 |
| <b>令和 8 年 7 月 14 日</b> | <b>戦略推進会議（懇談会）</b><br>⇒ PD・JSTからの外部評価の結果等の報告に対して、助言を実施                                      |
| 令和 8 年 7 月頃            | <b>CSTI有識者議員懇談会</b><br>⇒ CSTI5年目評価に向けて、PD・JSTからの目標の進捗状況・達成の見通しの報告に対して、質疑・意見交換等を実施           |
| 令和 8 年 9 ～ 10 月頃       | <b>CSTI有識者議員懇談会</b><br>⇒ PD・JSTは質問や意見へ回答、5 年目評価案についての意見交換等を実施                               |
| 令和 8 年 10 ～ 12 月末頃     | <b>CSTI本会議 5 年目評価、継続・終了決定</b>                                                               |

# ムーンショット型研究開発制度における目標毎の評価スケジュール

- 目標1・2・3・6は、CSTI本会議で後半5年のプログラムの「継続」が決定（R7年11月）
- 目標4・5は、CSTI本会議で後半5年のプログラムの「継続」が決定（R6年6月）
- 目標7は、健康・医療戦略推進本部で後半5年のプログラムの「継続」が決定（R7年11月）
- **目標8・9は、今年度、本会議でCSTI 5年目評価を実施し、目標達成に向けたプログラムの継続・終了を決定**
- 目標10は、令和11年度のCSTI本会議で5年目評価を実施予定

